

## 津房地区

## 前回出された質問等に対する回答及びその後の対応状況

担当課	質問内容	回答後の対応状況
1 産業建設課	支障木の除去や積雪時の対応における別府市との連携について	国道500号は、宇佐土木事務所と別府土木事務所の管轄となっています。 宇佐土木事務所を通じて別府土木事務所に支障木の伐採等について要望し、危険箇所から優先的に整備しました。今後も、連携を密にし、安全・快適な道路環境の整備に努めてまいります。
2 耕地課	地籍調査の早期実施について	現在、旧宇佐市・旧院内・旧安心院地域を1つずつのチームに分け計3チームで作業を進めており、おもに山間部を中心とした境界確認、測量を行っているところです。今後も計画的に取り組み、地籍調査の早期の完了を目指します。
3 教育総務課	旧津房小学校グラウンドの活用について	旧津房小学校グラウンド等については、平成26年度より津房地区まちづくり協議会に委託して、年2回の草刈りを行っており今年度も引き続き委託を行い、跡地の管理に努めます。 また、今年度、土地の一部を利用して、津房地区若者定住促進住宅を建設する予定です。
4 産業建設課	中西峠の全面通行止めの解除について	県道津房木裳線の中西峠区間における抑止杭設置工事が平成28年7月下旬に完成、同工事に伴う舗装工事も同年8月上旬に完成し、安全な通行が可能となっています。
5 企画財政課	「定住満足度日本一のまちづくり」について	将来人口5万人の維持という目標実現に向け、「宇佐市まちひとしごと創生総合戦略」を策定し、「安定した雇用を創出する」「新しい人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「地域をつくり、地域と地域を連携する」という4つの基本目標を立て、各種取り組みを行っています。 併せて、地域の特色を活かし、安心院地域では、安心院地域複合支所の建設や若者定住促進住宅の建設、国営のブドウ園再編整備事業などの他、地域コミュニティ組織活動支援や鏝絵をはじめとした地域の伝統文化の保存継承などの支援も行っているところです。
6 地域振興課	安心院支所建設における地元産材の活用について	安心院地域複合支所の建設は、安心院支所と中央公民館の機能だけでなく、公共的団体等を備えた複合施設として、また、地域の交流拠点、防災拠点として整備する計画で、本年3月に実施設計が完成しました。使用する木材のほとんどを市有林材でまかなう予定で、本年度建築工事に着工し、平成31年に完成予定です。
7 産業建設課	ワイン祭りへのまちづくり協議会や地域住民の参加について	ワイン祭りには、各種団体やグループに所属する安心院地域の多くの方々が参加しており、本年度に出店を計画しているまちづくり協議会もあります。安心院地域の魅力や情報を発信する格好の機会ですので、今後も各協議会へ呼びかけていきたいと考えています。
8 子育て支援課	放課後児童クラブの利用料金について	各児童クラブで特色ある運営をしており、利用料金は児童クラブの利用人数や支援員の数、運営の状況により、地域の代表、学校長、保護者等で構成するそれぞれの運営委員会で審議され、児童クラブを利用する保護者の総会等で決定されておりますので、各児童クラブによって金額が異なります。

9	産業建設課	簡易水道施設の改修について	尾立簡水では平成28年度に配水管の洗管作業を行いました。また、水源地の老朽化した除鉄除マンガン装置の取替工事をし、原水のろ過能力を高める対策を講じた結果、水道水の濁りの発生は、かなり解消され水質の改善が図られました。水量の確保については、漏水対策として老朽化した尾立簡水の管路更新事業を計画しており、本年度、測量・設計を実施します。
10	産業建設課	広域農道の支障木や積雪時の対応について	支障木については、平成27年度より枝木の伐採に合わせ路肩に堆積した土砂や雑草の除去及び側溝の清掃を行いました。しかし、一部地権者の同意が得られない箇所もあり、着手出来ていない区間もあります。また、積雪時は、安全パトロールを実施して倒竹の除去や塩化カルシウムの配布及び散布を行っております。
11	社会教育課	絶滅品種のエヒメアヤメの保存について	市文化財調査委員会で調査や審議を行い、平成29年3月に「寒水のエヒメアヤメ自生地」として天然記念物として追加指定されました。寒水地区では、エヒメアヤメを地域の宝として守るため保存会が結成されており、今後は行政と地域が連携して県指定文化財への取組みを行うこととしています。
12	商工振興課	プレミアム商品券について	平成27年度の2回目の販売は、1回目の実施で問題となった課題について、チラシに販売場所の販売口数の記載、一人当たり購入限度額の見直し、警備員の配置等、改善策を講じ、大きな問題もなくスムーズな販売ができました。平成28年度以降につきましても、販売後に販売方法などを総括し、次回販売に反映させることで、一人でも多くの方へ販売できるよう努めています。